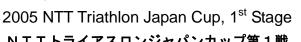


2005 ITU Triathlon World Cup, Ishigaki 2005 ITU トライアスロン ワールドカップ 石垣島大会







NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦 15th May 2005

庭田清美(アシックス・ザバス)が2位、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)も3位に

2005ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会が、5月15日(日)、沖縄県石垣市の特設コースで行われた。 女子は午後1時のスタート。ロレッタ・ハロップ(オーストラリア)がスイムを終始リードし、ニコル・ハケッ ト(オーストラリア)、ローラ・ベネット(アメリカ)と続く。日本選手は庭田がスイム 6位の好位置でバイクへ。 中西真知子 (NTT 東日本・NTT 西日本) は 10 位、関根は 15 位でトランジションに入った。

バイクでは、ハロップが逃げ続け、ハケットとバネットが第2集団で追う。庭田と中西は第3集団、関根は第4 集団につけていた。

ランでは、第3集団と第4集団から追い上げた選手たちが先行するハロップ、ハケット、ベネットを次々とパス。 第3集団から前へ出たサマンサ・ワリナー(ニュージーランド)じわじわと追い上げ、ITU ワールドカップで初優 勝を飾った。レース後ワリナーは、「いいコースで、曇りだったのが良かった。後ろから追い上げてくるランナーた ちから逃げ切れてホッとした」と語った。

'97年の蒲郡大会、昨年の石垣島大会に続いて3度目の2位となった庭田は、「ランがきつかったけど、今年は最 初から飛ばしていこうと思っていたのが良かった」とコメントした。3位の関根は、'00年の石垣島大会、'03年の 蒲郡に続いての3位。関根は、「第4集団から追い上げて3位になったのが収穫」と話した。

午後3時45分にスタートした男子は、アンディ・ポッツ(アメリカ)がスイムトップ。平野司(関西大学)は2 位でスイムを終え、後続は1分以内に33名が入る混戦模様となった。

6周回のバイクでは、回を重ねるごとに集団がふくらみ、そこから逃げる選手がいたがすぐに吸収されることを繰 り返し、最終的にはディディール・ブロカー (スイス) を含む 5 名が最初にランへと移った。

ランでは、満を持していたように飛び出したハンター・ケンパー(アメリカ)とビクター・プラタ(アメリカ)、 カートニー・アトキンソン(オーストラリア)が競り合いを続け、結局アトキンソンが2度目の石垣島大会の優勝 を決めた。日本選手男子は、平野の13位が最高位だった。

なお、レースの模様はフォトギャラリーでご覧になれます。





























